

ISDNと家庭内LAN

(家庭内乱じゃないよ)

ふちんかん

ISDNにした理由

自慢話になるが聞いてくれ。

今まで 28.8 モデムでやってきて、多少なりとも速度的な不満はあった。が、ISDNにするほどでもない、と思っていたものだ。が、昨日、ついに ISDN を導入した。

きっかけとなったのは、ISDN で接続されている職場のパソコンでリアルオーディオを聞いたときのショックだった。内蔵のちんけなスピーカーから高質のサウンドが流れてきたとき、これは ISDN にせねばなるまい！と思ったのだ。

機器購入

私は、ダイヤルアップルーターを選択した。こいつは LAN (Local Area Network) を組むときの中継となるハブと、TA と DSU という ISDN 回線をパソコンで使うために必要な機器とを、ひとまとめにしたもので、こいつをつなぐと、むちゃくちゃ接続が早くなるのだ。

モデムだと、ブラウザを起動してから接続完了までに 1 分はかかるだろう。ところが、ダイヤルアップルーターなら 5 秒とかからずにできてしまうのだ。切断も指定した時間アクセスがないと自動的に行ってくれる。ちょっとトイレ、というときに、いちいち切断する処理をしなくてもよいし、再開する時も即行だ。

今までは、メールを読むにしてもホームページを更新するにしても、プロバイダに「接続する」という意識を持って行っていたのだが、昨日からは、常にインターネットに接続されているような感覚に変わった。専用線というものを使ったことはないのだが、たぶんこんな感じなのだろう。

家庭内LAN

メリットがもう一つある。データの管理が楽になったのだ。

ルーターにつなぐということは、LAN を導入するということだ。

今、うちの家の中に 3 台のパソコンがあるが、それぞれのパソコンにデータが入っている。もちろん、同じファイルも多い。しかし、どれかのパソコンでデータを更新したとして、それをほかのパソコンに移すことがどれだけ大変か。フロッピーに入るようなデータならよいが、昨今、そんな小さなファイルサイズのデータは少ないのだ。

そんなこともLANを組めば解消するのだ。

Windows95にはLAN機能が内包されているので、思いのほか簡単にネットワーク化できた。別のコンピュータのデータを吸い上げることが出来る。別のコンピュータのCDドライブからソフトをインストールすることもできる。別のコンピュータに接続されているプリンタから印刷することもできる。ネットワークに接続されているコンピュータというものをほとんど触ったことがない私にとっては驚きの連続だったぞ。

メインのAptivaとサブのLibrettoの間にあった垣根が一気に取り払われた感じなのだ。

さらに。まあこんな使い方は滅多にしないと思うが、ルータに接続されているパソコンすべて同時にインターネットにアクセスすることができるのだ。私と嫁さんと、机を並べてネットサーフィン、ということもやろうと思えばできるということだ。

さらに。ISDN 1本で一般回線2本分なので、話し中はなくなる。逆に電話しながら一方でインターネットに接続という風に、2回線使うということも可能なわけだ。

これは便利だ。みなさんもぜひ、ぜひ、ぜひとお奨めしよう。